



教 保 第 463 号

令和4年11月11日

各県立学校長 様

教 育 長

学校生活におけるバス利用に当たっての児童生徒の安全管理の徹底について（通知）

この度、県内の小学校のスクールバス内に児童が一時置き去りとなる事案が発生しました。

本年9月、静岡県牧之原市における、認定こども園の送迎バスに置き去りにされた子どもが亡くなるという大変痛ましい事案の発生を受け、国においては、バス送迎に当たっての安全管理の徹底に関する緊急対策を取りまとめるなど、事故防止の取組を行っている中で発生した、極めて重大な事案であります。

学校生活においては、通学のためのスクールバスをはじめ、修学旅行や校外学習の際に乗車する民間事業者のバスなど、児童生徒等がバスを利用する様々な機会がありますが、いずれの場合においても児童生徒等の安全を確保することが必要です。

については、「学校生活におけるバス利用に当たっての児童生徒の安全管理の徹底について（令和4年9月14日付け教保第390号）」及び「バス送迎に当たっての安全管理の徹底に関する緊急対策に準じたスクールバス利用に関する取組について（令和4年10月20日付け教保第439号）」により通知したところですが、改めて下記のとおり安全管理を徹底するようお願いします。

記

- 1 各学校において児童生徒がバスを利用する機会を振り返り、場面の切り替わりにおける児童生徒の人数確認の在り方などについて自主的な点検を行うこと。
- 2 特に、乗車時に児童生徒の氏名、人数等を確認するとともに、降車時等に点呼や後部座席までの点検などにより児童生徒の所在を確認すること。
- 3 バスの運行を民間業者に委託している場合は、委託業者に対し、上記の取組を徹底させること。

【担当】

保健体育課学校健康安全担当
指導主事 小野 美保
TEL 019-629-6187